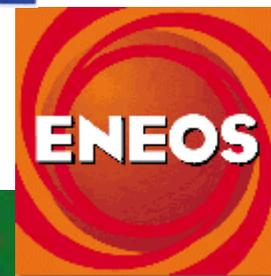


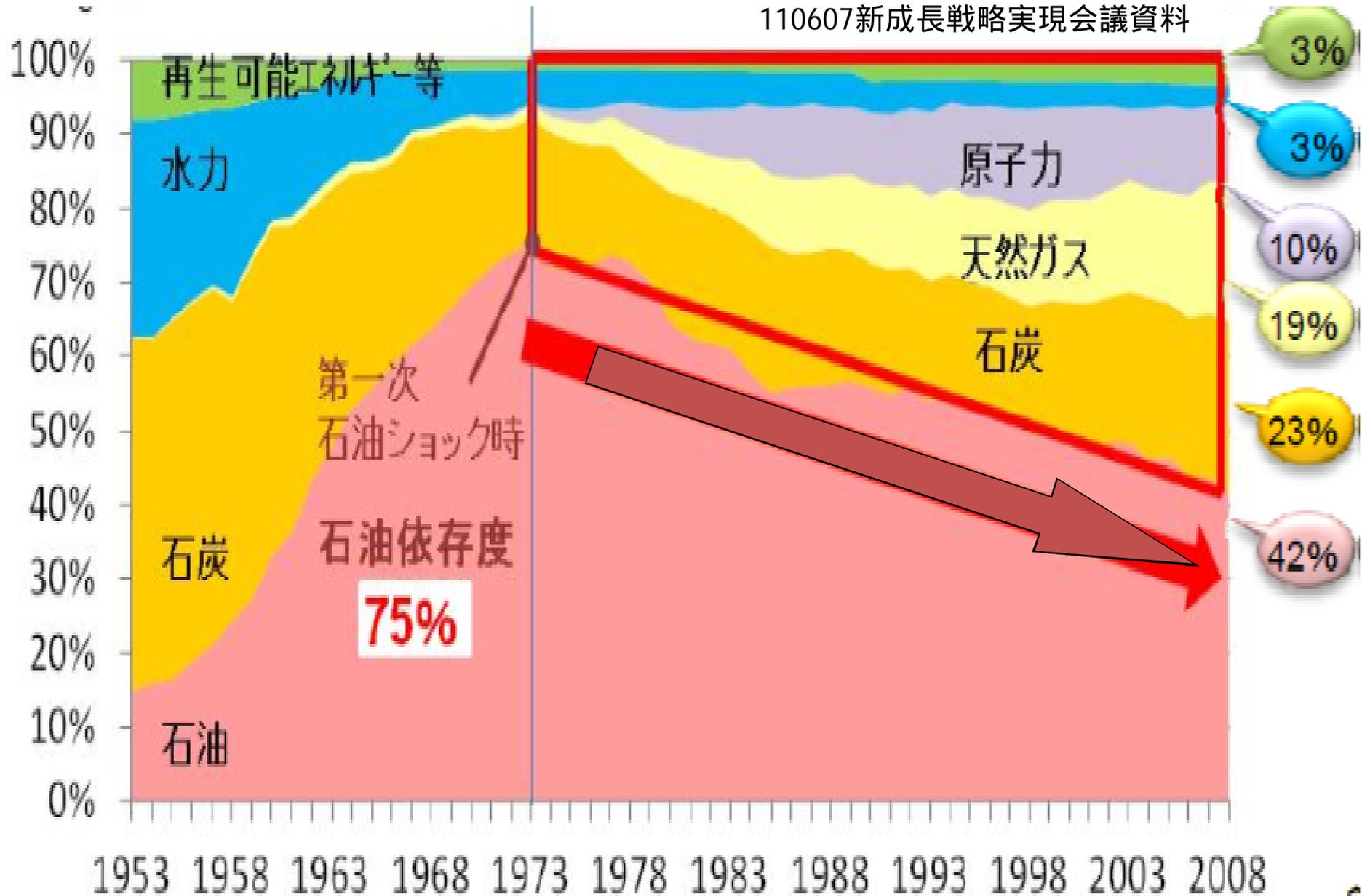
1-1 JXグループの沿革

- ・1888年 新潟県刈羽郡石地に有限責任日本石油会社を創立
(2008年に創立120周年、エクソモビルは、1870年にオハイオ・スタンダードオイルとして創立)
- ・1912年 日本鉱業株式会社の前身久原鉱業株式会社設立
- ・1951年 日本石油はCaltexとの折半出資で精製株式会社設立
- ・1993年 株式会社ジャパンエナジーに改称。新ブランドネーム「JOMO」
- ・1999年 日本石油が三菱石油株式会社を合併し、日石三菱株式会社に商号変更
- ・2002年 新日本石油株式会社に商号変更。新日鉱ホールディングス株式会社設立。
- ・2008年 新日本石油が九州石油株式会社を合併
- ・2010年 新日本石油と新日鉱ホールディングスが合併してJX日鉱日石ホールディングスを設立、傘下にエネルギー、開発、金属の3事業会社



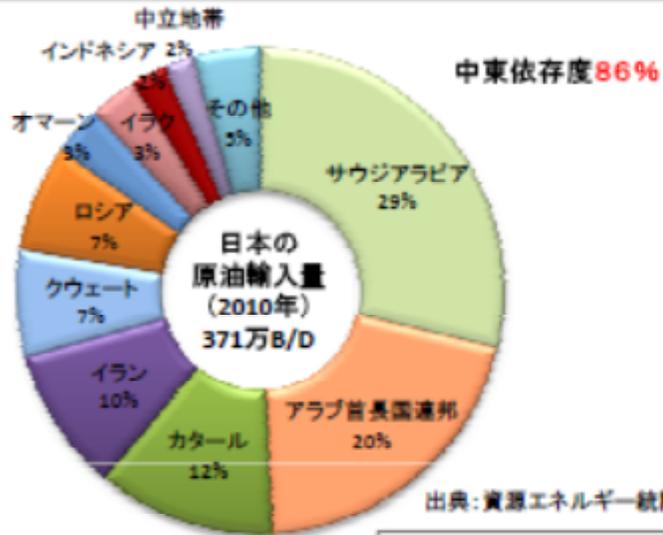
2-5 日本の一次エネルギー供給構成

110607新成長戦略実現会議資料

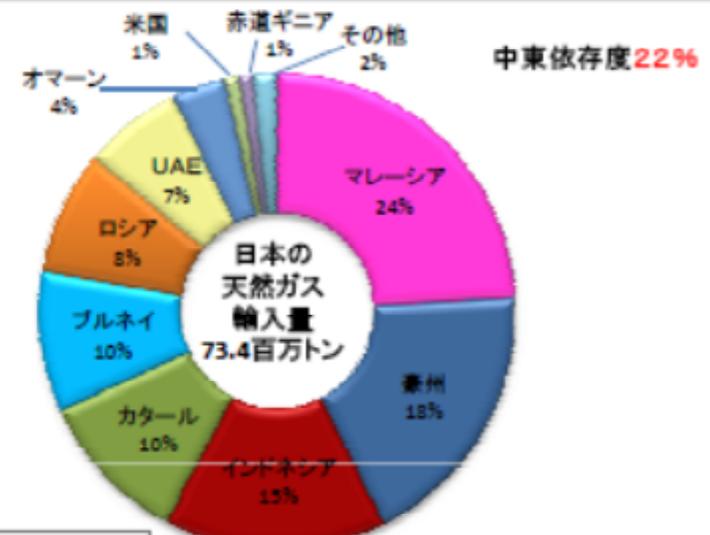


2-11 わが国の化石燃料の輸入先 - 天然ガスはマレーシア、石炭は豪州

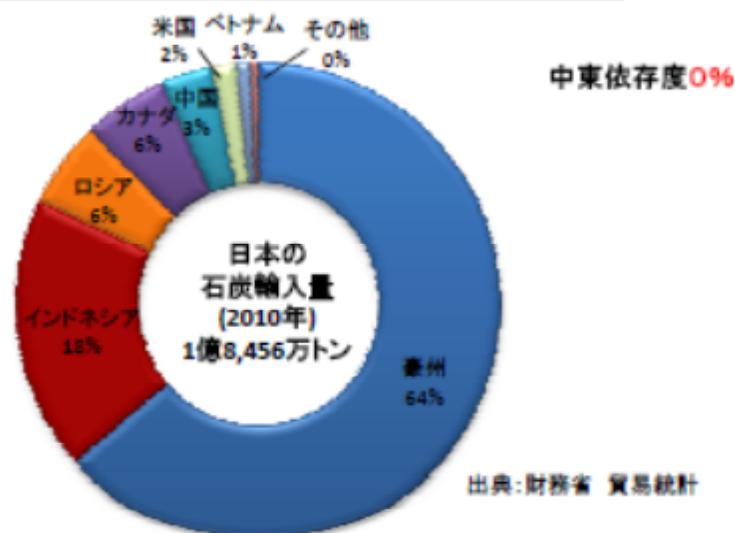
原油(2010年)



天然ガス(2010年)



石炭(2010年)

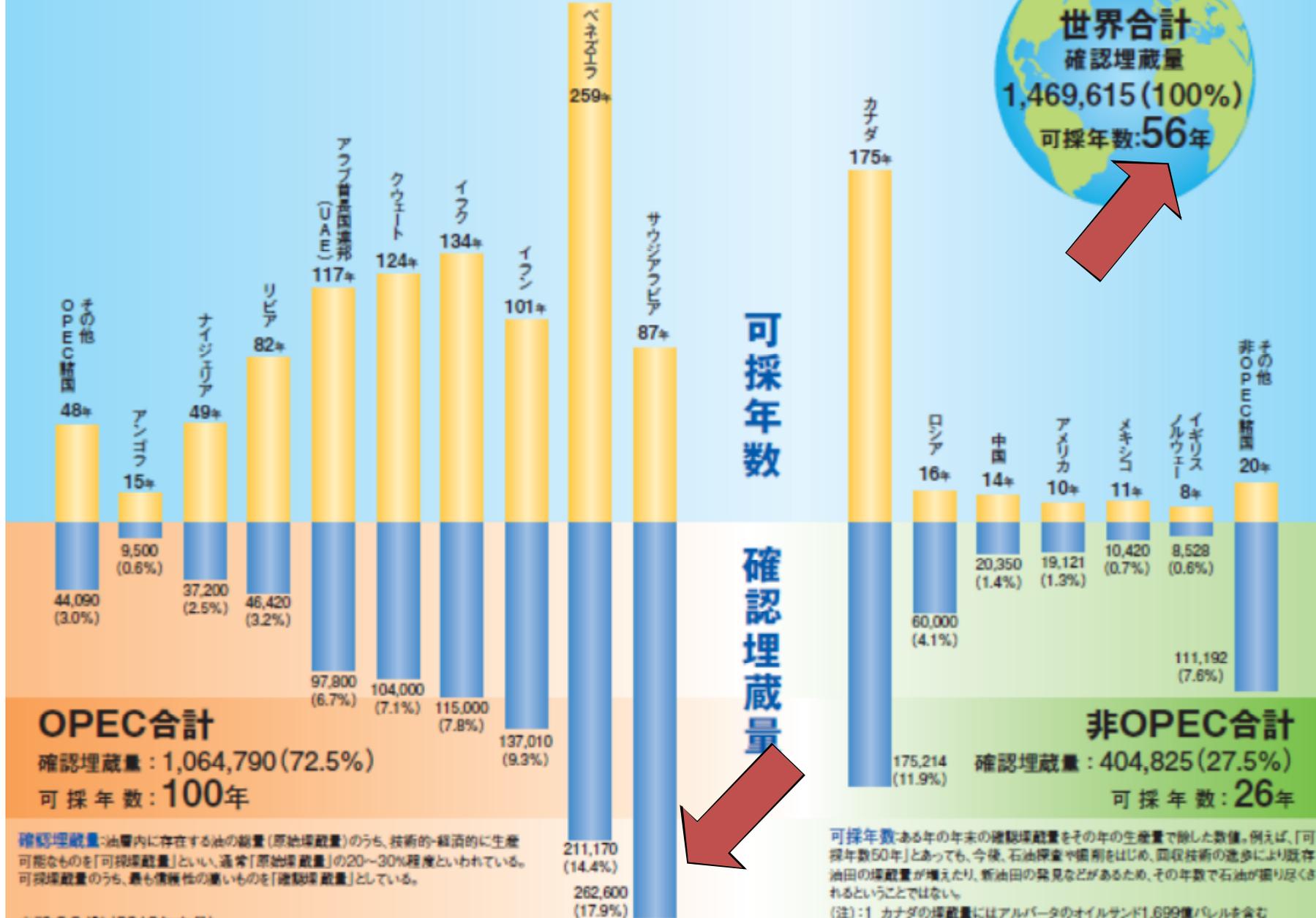


3-1 世界の原油埋蔵量

(2010年末現在)

単位:百万バレル

2010年末の世界の原油確認埋蔵量は約1兆4,696億バレル、可採年数は56年となっており、確認埋蔵量の72.5%をOPEC諸国が、また51.2%を中東諸国が占めている。

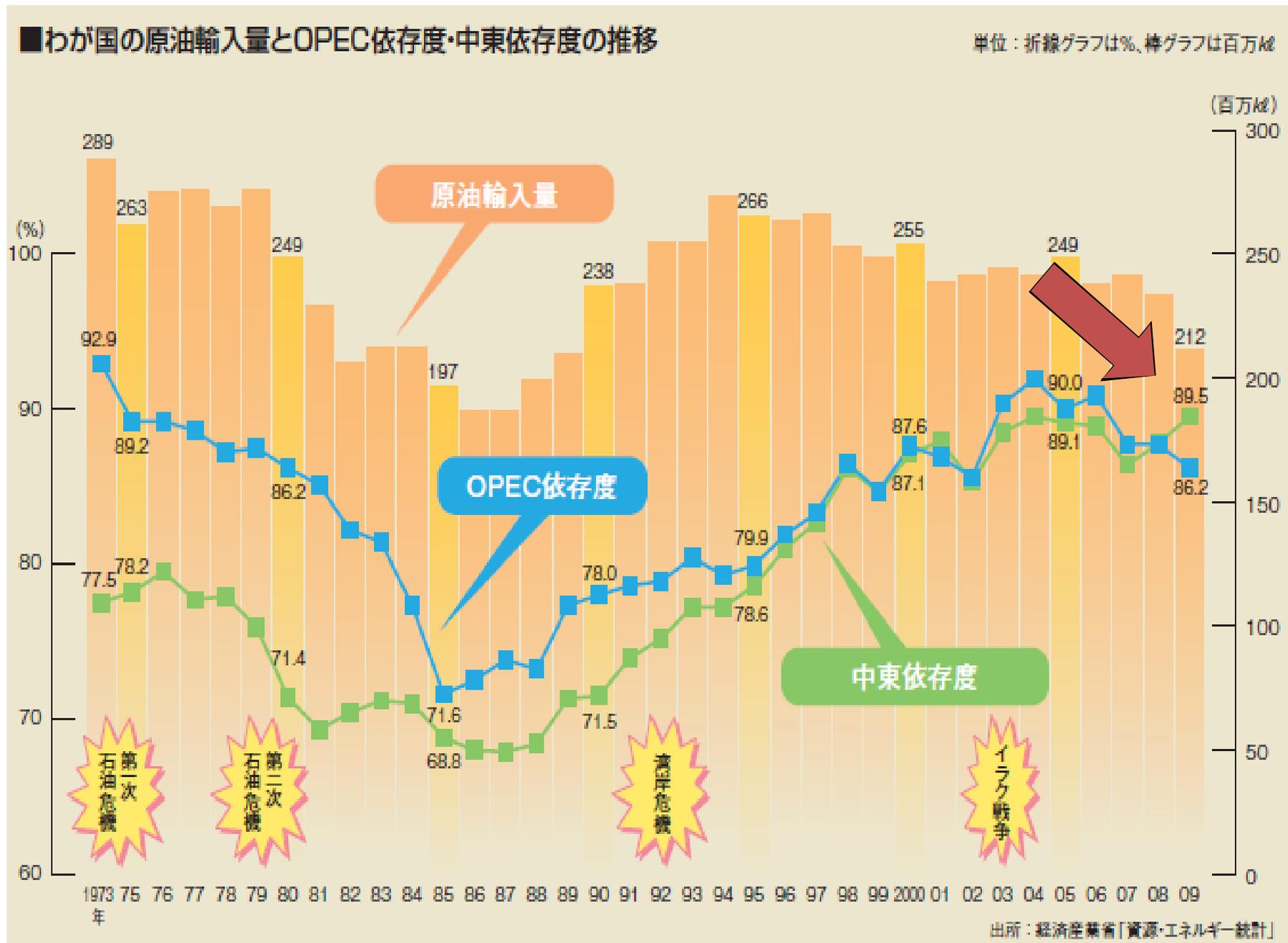


確認埋蔵量: 油層内に存在する油の総量(原始埋蔵量)のうち、技術的・経済的に生産可能なものを「可採埋蔵量」といい、通常「原始埋蔵量」の20~30%程度といわれている。可採埋蔵量のうち、最も信頼性の高いものを「確認埋蔵量」としている。

可採年数: ある年の年末の確認埋蔵量をその年の生産量で除した数値。例えば、「可採年数50年」とあっても、今後、石油探査や掘削をはじめ、回収技術の進歩により既存油田の埋蔵量が増えたり、新油田の発見などがあるため、その年数で石油が掘り尽くされるということではない。

(注): 1 カナダの埋蔵量にはアルバータのオイルサンド1,699億バレルを含む
 2 ベネズエラの埋蔵量にはオリノコ地域の重質油を含む

2-12 原油の輸入依存度の推移—中東依存度が90%

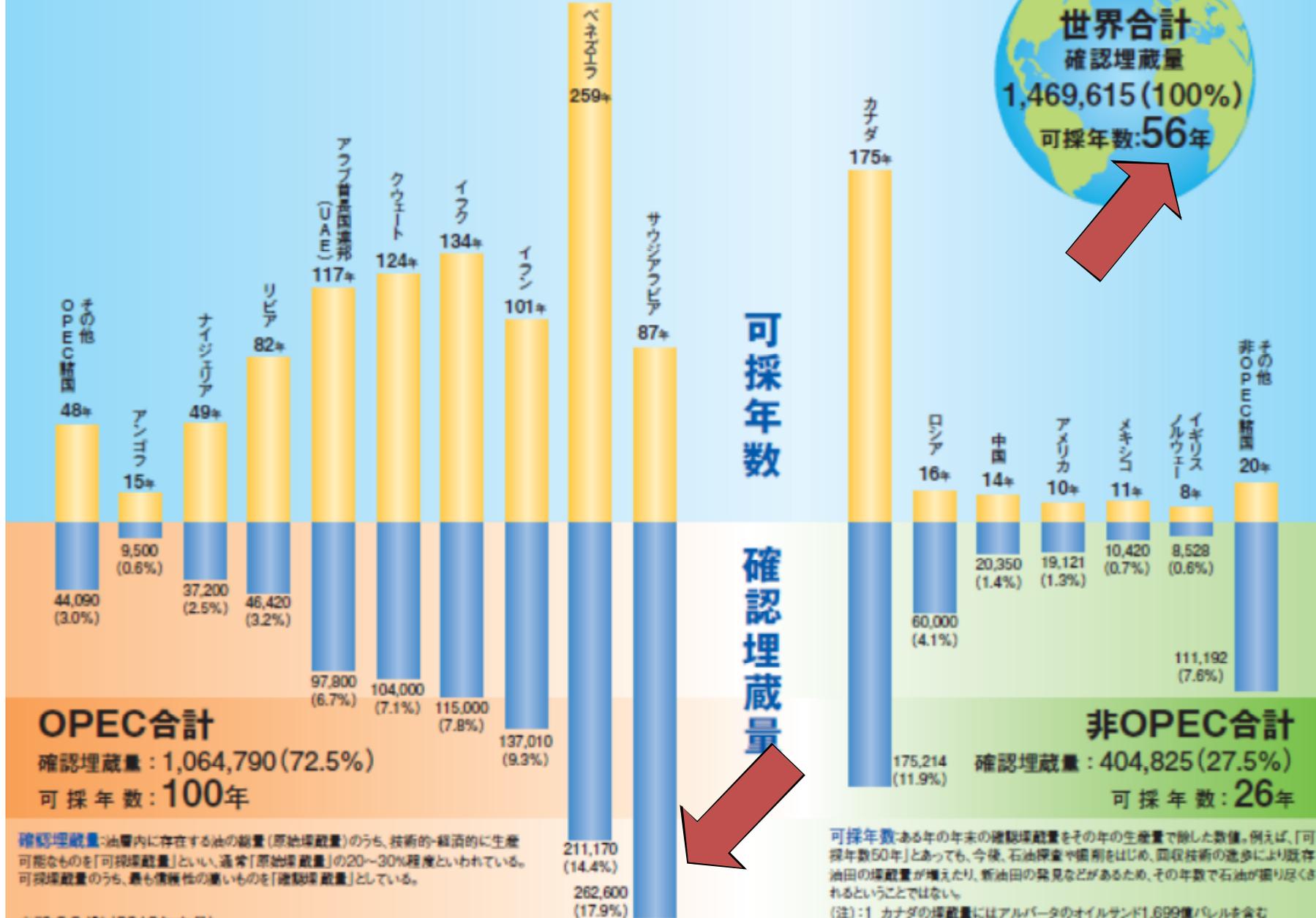


3-1 世界の原油埋蔵量

(2010年末現在)

単位:百万バレル

2010年末の世界の原油確認埋蔵量は約1兆4,696億バレル、可採年数は56年となっており、確認埋蔵量の72.5%をOPEC諸国が、また51.2%を中東諸国が占めている。



確認埋蔵量: 油層内に存在する油の総量(原始埋蔵量)のうち、技術的・経済的に生産可能なものを「可採埋蔵量」といい、通常「原始埋蔵量」の20~30%程度といわれている。可採埋蔵量のうち、最も信頼性の高いものを「確認埋蔵量」としている。

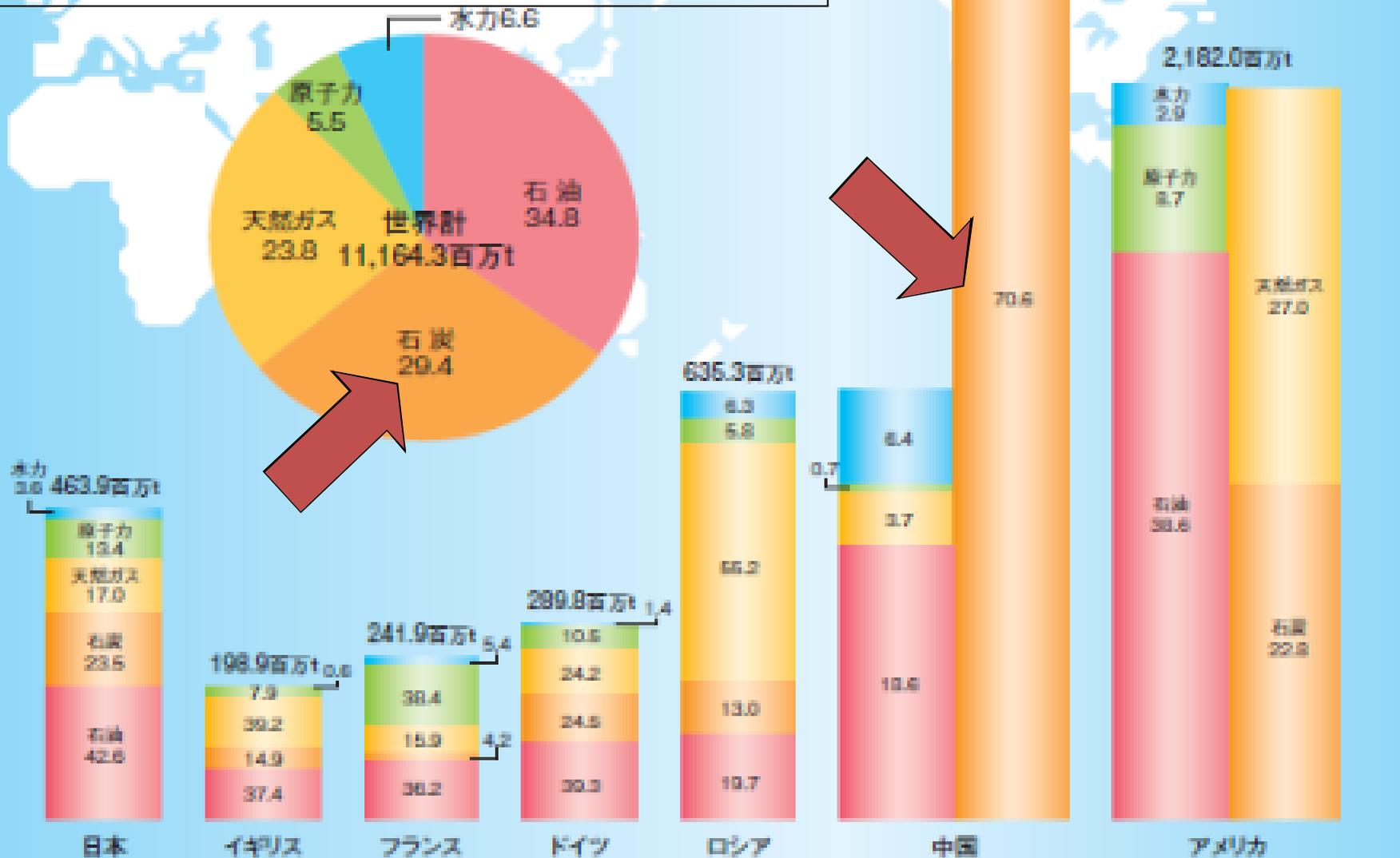
可採年数: ある年の年末の確認埋蔵量をその年の生産量で除した数値。例えば、「可採年数50年」とあっても、今後、石油探査や掘削をはじめ、回収技術の進歩により既存油田の埋蔵量が増えたり、新油田の発見などがあるため、その年数で石油が掘り尽くされるということではない。

(注) 1 カナダの埋蔵量にはアルバータのオイルサンド1,699億バレルを含む
 2 ベネズエラの埋蔵量にはオリノコ地域の重質油を含む

■主要消費国の一次エネルギー消費構成比(2009年)

3-3 世界の一次エネルギー消費

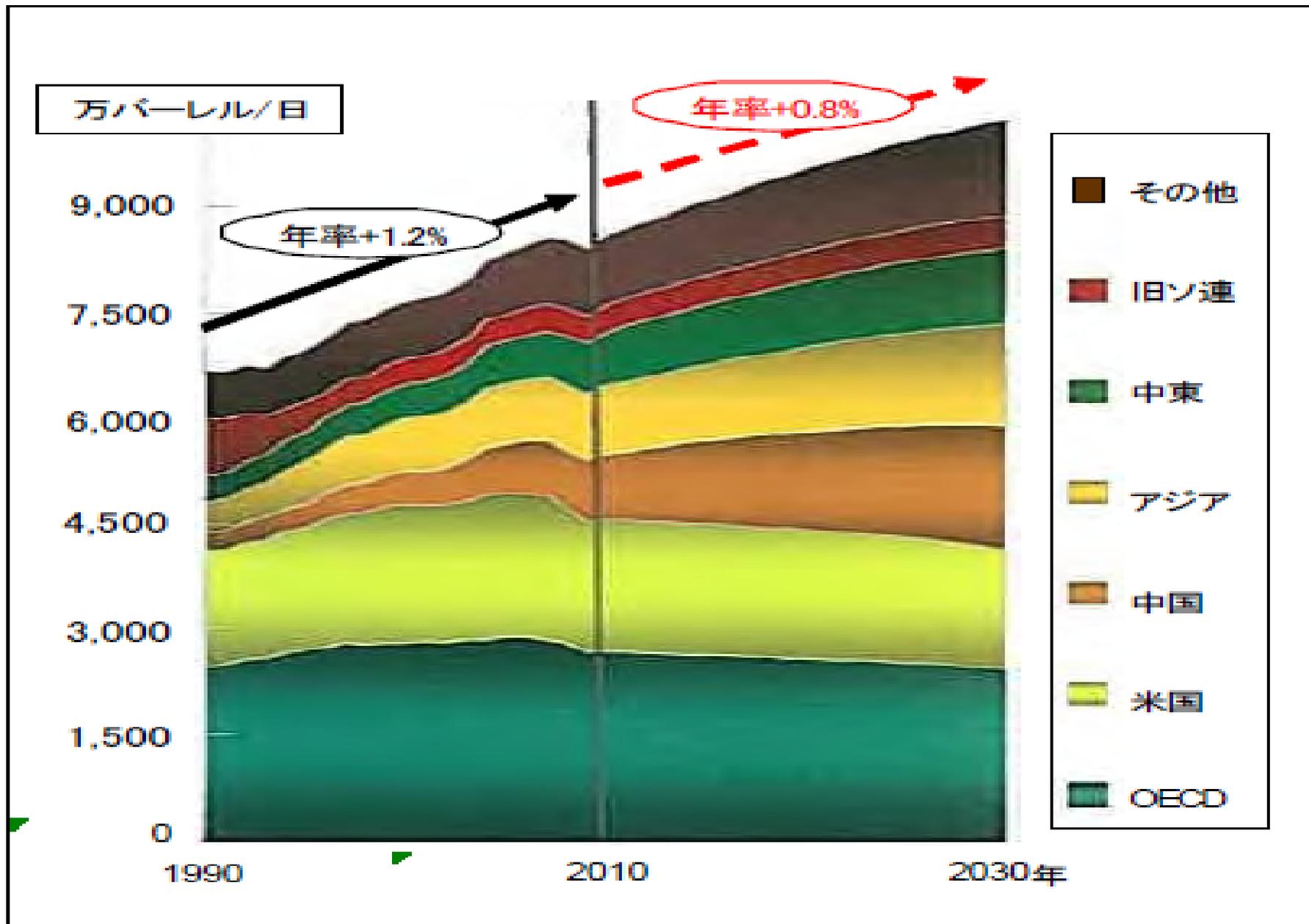
石炭消費が多い。



出所:IEA「世界エネルギー統計」(2010年版)

4. 石油エネルギーの今後

1. 日本での石油需要は減少
2. 世界の石油需要は伸び率は低いが上昇、特に非OECD諸国の伸びは大きい。
3. 石油のシェアが低下する一方で、天然ガスのシェアが高まる。
= 天然ガス黄金時代
= シェールガス革命
4. 技術革新によるコスト低減が進展すれば、埋蔵量増加の可能性はある。



出典：BP Statistical Review of World Energy 2010

4-5 石油価格の将来

OPEC事務局の予測 9/26PIW

	2011年	2035年
石油需要	8,700万BD	1億900万BD
平均原油価格	85 ~ 95\$*	133\$
OPECの市場 シェア	34%**	29%

* この1年間?の平均価格

** 総エネルギーミックスに占めるシェア (石油供給に占めるシェアではない)